

令和3年度事業報告

公益財団法人として、新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、各種の文化振興事業を実施しました。

I 財団運營業務

1 評議員会・理事会の開催

財団運営の基本方針、事業計画、予算及び決算などを決議又は承認するため、次のとおり評議員会並びに理事会を開催しました。

(1) 評議員会の開催

	開催日・会場・出欠状況	審議事項・報告事項・協議事項
定時 評議員会	令和3年6月22日 白山会館 出席評議員 6名 欠席評議員 4名 出席理事 2名 出席監事 1名	【議案審議事項】 ・・・いずれの議案とも提案どおり決議 1 令和2年度事業報告及び同附属明細書について 2 令和2年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び同附属明細書並びに財産目録について 3 理事の選任 4 監事の選任 【報告事項】 1 令和3年度事業計画（変更計画を含む）について 2 令和3年度収入支出予算（第1回補正を含む）について 3 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて

(2) 理事会の開催

	開催日・会場・出欠状況	審議事項・報告事項・協議事項
通常 理事会 第1回	令和3年5月24日 白山会館 出席理事 6名 出席監事 2名	【議案審議事項】 ・・・いずれの議案とも提案どおり決議 1 令和2年度事業報告及び同附属明細書について 2 令和2年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び同附属明細書並びに財産目録について 3 定時評議員会の招集にかかる日時及び場所並びに目的である事項等について 4 令和3年度事業計画の変更について 5 令和3年度収入支出補正予算について 6 特定寄付金の募集について 7 第四北越銀行等からの寄付金に係る文化振興事業積立資産への積立について
臨時 理事会 第1回	令和3年6月24日 白山会館 出席理事 5名 出席監事 2名	【議案審議事項】 ・・・議案第2以降、提案どおり決議 1 代表理事の選定について （大浦理事を選定した。） 2 業務執行理事の選任について 3 顧問の選任について 4 理事の賠償責任限定に関する契約の締結について

	開催日・会場・出欠状況	審議事項・報告事項・協議事項
臨時 理事会 第2回	令和3年10月26日 白山会館 出席理事 5名 出席監事 2名 顧問出席 1名	<p>【議案審議事項】・・・いずれの議案とも提案どおり決議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度事業計画の変更（第2回）について 2 令和3年度収入支出補正予算（第2回）について 3 評議員候補者の推薦について 4 評議員選定委員会委員の選任について 5 事務局職員の職名の取扱いに係る内規の改正について <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度上半期職務執行状況について <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団見直し（事業の県直営化・財団廃止）に関する県の方針について
通常 理事会 第2回	令和4年3月24日 白山会館 出席理事 5名 出席監事 2名 顧問出席 1名	<p>【議案審議事項】・・・いずれの議案とも提案どおり決議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度収入支出補正予算（最終）について 2 令和4年度事業計画について 3 令和4年度収入支出予算について 4 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて 5 令和4年度財産運用計画について 6 「ふれあいホッとコンサート準備資金」に係る事業計画について 7 公益財団法人新潟県文化振興財団特定資産取扱基準の一部改正について 8 評議員候補者の推薦について <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県文化振興財団と新潟県の一体化について

2 組織体制

財団事務局の業務を円滑に進めるため、次の体制で効率的な管理運営を図りました。

(1) 役員等の人数 (令和4年3月31日現在)

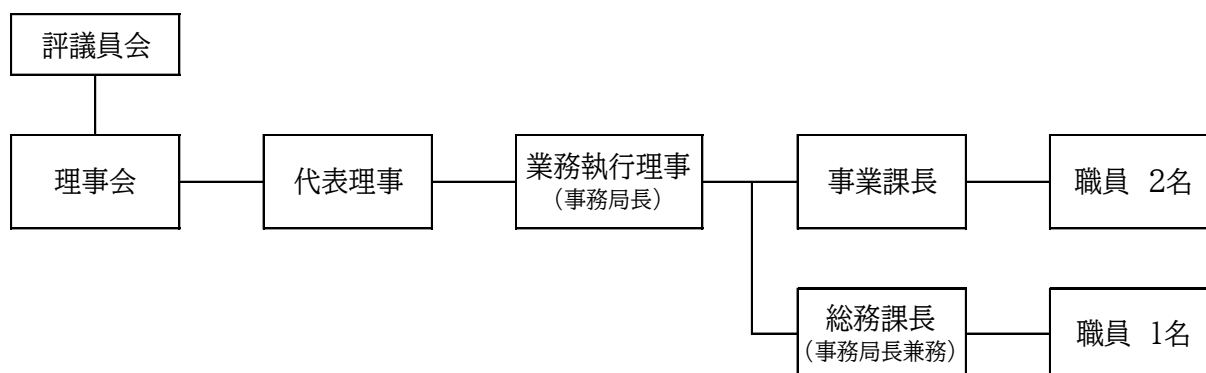
評議員 (10名)
理事 (5名) 理事内訳< 代表理事(1名)+業務執行理事(1名)+ 理事(3名) >
顧問 (1名) *令和3年6月24日新設
監事 (2名)

(2) 職員数 (令和4年3月31日現在)

事務局長	職員	計	備考
1名	4名	5名	

※ 令和2年度から現体制

(3) 組織図 (令和4年3月31日現在)



3 基本財産の管理運用

当財団財産管理運用規程第4条(基本財産運用方針)及び第6条(運用対象)の規定に基づき、基本財産12,193千円を定期預金として継続的に安定した管理運用を行っています。

II 事業体系

1 文化振興事業費 55,285 千円 《公益目的事業会計 55,285 千円》

(1) 文化自主事業	32,342 千円
① 芸術文化普及・ホール活性化支援	7,976 千円
② 地域中核ホール活性化支援	8,638 千円
③ ふれあいホッとコンサート	282 千円
④ 新潟ステージチャンネル魅力発信事業	13,617 千円
⑤ 事務費	1,829 千円
(2) 文化活動支援事業	17,892 千円
① 県民文化活動推進事業	6,040 千円
② 国民文化祭参加事業	274 千円
③ 郷土の文化人顕彰事業	9,750 千円
④ その他、新潟県美術総合展褒章事業等	509 千円
⑤ 新潟の文化を応援しよう！プロジェクト支援事業	1,319 千円
(3) 情報収集提供事業	5,052 千円
① 文化情報誌「カルチャーにいがた」発行	5,052 千円
② オンライン情報提供	
(4) 文化関係機関連携事業	

2 管理費 32,002 千円

《公益目的事業会計 16,995 千円、法人会計 15,007 千円》

(1) 人件費	28,028 千円	《公益目的事業会計 15,965 千円、法人会計 12,063 千円》
(2) 運営費	3,974 千円	《公益目的事業会計 1,030 千円、法人会計 2,944 千円》

総事業費計 87,287 千円

《公益目的事業会計 72,280 千円、法人会計 15,007 千円》

Ⅲ 事業概要

1 文化振興事業《公益目的事業会計 事業費 55,285 千円》

(1) 文化自主事業

《事業費 32,342 千円》

① 芸術文化普及・ホール活性化支援事業（県補助金対象事業） 7,976 千円

日頃「生の演奏」に接する機会の少ない県民に「身近で手頃な」鑑賞機会を提供するとともに、低迷する地域のホールの活性化を支援するため、県内各地域と共催で各種公演を実施しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず2公演を中止としました。

また、限られた財源を有効に活用するため、当財団が中心となって県内8団体と実行委員会を組織し、文化庁の補助金を活用して事業を行いました。

- マイタウンコンサート： 4会場で実施（1会場中止）
- 舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト： 7会場で実施（1会場中止）
 - ・鼓童交流公演2021 見附市文化ホール
五泉市交流拠点複合施設「ラポルテ五泉」
 - ・奥村愛 Plays ピアソラ 長岡市寺泊文化センター
糸魚川市民会館
(チェコ・フィル・ストリング・カルテット中止に伴う代替公演)
 - ・劇団四季ファミリーミュージカル 妙高市文化ホール
「はじまりの樹の神話」 燕市文化会館
 - ・野村萬斎によるはじめての狂言 魚沼市小出郷文化会館

② 地域中核ホール活性化支援事業（財団独自財源事業） 8,638 千円

県民会館で培ったノウハウをもとに、おおむね1,500席程度の地域中核ホールと共催で質の高い公演を実施しました。なお、キエフ・クラシック・バレエは中止しました。

- 新潟県文化振興財団40周年記念事業「ふれあいホッとコンサート」 新潟市芸術文化会館
- 劇団四季ミュージカル「The Bridge～歌の架け橋～」 上越文化会館

③ ふれあいホッとコンサート 282 千円

財団の事業や基本財産の運用で得た利益を社会還元するため、身体的な理由等でホール足を運べない人々（高齢者施設や病院、特別支援学校）を対象にアウトリーチによるコンサートを県内7箇所で開催しましたが、開催できたのは1箇所でした。

実施できたコンサートのDVD動画を作成し、4施設でDVD鑑賞会を実施してもらいました。

④ 新潟ステージチャンネル魅力発信事業 13,617 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動、発表の場を失っている文化団体・個人等の活動を支援するため、YouTubeの「新潟ステージチャンネル」で、活動動画を公募し、配信することで活動の場を提供しました。

- ・公募動画配信数： 一般 80件、学校 13件

⑤ 事務費 1,829千円

(2) 文化活動支援事業**《事業費 17,892 千円》****①・② 文化活動支援助成金**

県民の文化への関心を高め、自主的な文化活動の活発な展開と個性豊かな県民文化の振興に寄与するため、県内の文化団体等の活動に対し15件の助成決定をしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により3件が取り下げし、事業の黒字化で1件が取り下げをしました。

また、国民文化祭に参加する文化団体に対し5件の助成決定をしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1件が参加を中止し取り下げを行いました。

○対象事業と助成額

事業名称	事業内容	助成 件数	助成額 (単位：千円)
① 県民文化活動推進事業	地域性、独自性、継続性の点で優れた活動に対する助成	11	6,040
② 国民文化祭参加事業	文化庁が主催する国民文化祭に出演する活動に対する助成	4	274

③ 郷土の文化人顕彰事業

9,750千円

国民文化祭の関連事業として、郷土の文化人についてその功績を明らかにし、地域文化とその価値の再認識を図る事業を委託により実施しました。

○委託先：(公財)にいがた文化の記憶館

○委託業務内容：以下の企画展及び、にいがた文化ネットワーク事業

- ・「日本映画初の女性脚本家 水島あやめ」
- ・「生誕130年 松岡譲」
- ・「反骨の日本画家・尾竹竹坡」

④ その他、新潟県美術総合展褒賞事業

509千円

次代を担う若手美術家の育成を図るため、新潟県美術展覧会(県展)、新潟県芸術美術展(芸展)において優秀な成績を収めた者(主に展覧会における若手・新人)に、公益財団法人新潟県文化振興財団賞を授与しました。

- ・対象美術展：新潟県美術展覧会(県展)、新潟県芸術美術展(芸展)
- ・表彰点数：県展7部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真)
：芸展6部門(同上(版画を除く))
- ・授与物：賞金3万円及び表彰楯(県展・芸展共通)

⑤ 新潟の文化を応援しよう！プロジェクト支援事業

1,319千円

新潟ステージチャンネルと併せて実施していた新潟の文化を応援しよう！プロジェクトに、令和2年度に当財団が受け入れた寄付金の一部を寄付し、同プロジェクトを支援しました。

(3) 情報収集提供事業

《事業費 5,052 千円》

県内外の催事情報や芸術関係情報、県内アーティスト等の文化関連情報を収集し、文化情報誌「カルチャーにいがた」、ホームページを通して県民に提供しました。

事業名	事業内容
① 文化情報誌「カルチャーにいがた」発行 5,052千円	○年4回発行 1回13,000部（A4判 16ページ） ○配布先（無料配布） ホール、博物館・美術館、図書館、金融機関、ホテル、JA関係施設、大学等
② オンライン情報提供事業 —	県が管理運営する「新潟文化物語」にイベント情報を一元化し、情報登録する関係者の手間を省くことで、漏れのない情報を財団HPからのリンクで県民に提供(スマートフォンやタブレットでも対応)。 このほか、Facebook、Instagramでの情報発信も実施。

(4) 文化関係機関連携事業**① 文化事業情報交換会**

県内文化関係者(興行主催者が中心)が一堂に会し、興行計画等の情報を提供し合い意見交換会を行いました。(当財団が事務局)

)

○ 令和3年7月 8日(木) 17団体、37名参加

○ 令和4年3月10日(木) 16団体、36名参加

② 令和3年度「舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会」事業

《事業費：別途 実行委員会会計》

文化庁の補助金対象事業である「文化芸術創造拠点事業」について、県内8団体で実行委員会(当財団が会長・事務局)を組織し、14事業19公演を実施しました。